



“鴨川探検！再発見！”見聞録

～第33弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」の巻～



“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるために企画しました“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第33弾「秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」を開催しました。

親子連れ35名が、野鳥や草花、昆虫などを観察し、身近な秋の自然を満喫しました。コオロギやショウリョウバッタを捕まえたり、くずの葉で音を出したりしながら北山大橋～北大路橋までの約600mを散策しました。子どもたちは、たくさんの虫を見つけることができ、とても楽しめたようです。

●事前説明



みんな熱心に聞いてくれました

●自然観察会(鴨川・北山大橋～北大路橋)



何がいるかな？

ツマグロチョウモン



ルーペで小さなクモを観察

コオロギ



ヨシガモ



アオサギ



トベラの実



草花でいろいろな遊びを学んだよ

●まとめ



何がとれたかみんなに発表したよ



鳥たちと背比べしたよ



茶色と緑の2種類のショウリョウバッタ

日 時 平成25年10月13日(日曜日) 午前10時00分から12時まで(天候 はれ)

場 所 鴨川北山大橋～北大路橋周辺(及び京都土木事務所)

参加者 子ども(小学生)18名、保護者17名の計35名
学生ボランティアスタッフ1名

(講師:NPO法人自然観察指導員京都連絡会)

